

各診療科推奨モデルコース

皮膚専門医養成コース

モデルコースの研修順は一例で、実際の研修順は異なる場合があります。

必修内科

必修救急

選択必修

選択

1年目												2年目											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
皮膚科 (大学) (選択1)			内科 (大学)			内科 (大学or院外)			救急 (大学or院外)			小児(院外) (選必2)		皮膚科 (選必3)		皮膚科 (選必1の振替)		皮膚科 (大学) (選択2)			外科(院外) (地域ブロック1ヵ月) (選択3)		

(コメント)

皮膚科研修を行うにあたって必要な基礎的臨床能力を習得することを目指す。1年目の早い時期に皮膚科を一度ローテートすることを推奨する。皮膚科の研修を早期に経験するためだけではなく、皮膚科と他科の関連について概略を知り各科での研修をより実りあるものとするためである。皮膚科専門医資格取得に必要な期間に初期研修期間を含めることもできるので、皮膚科に進むことを既に決めている場合には、J1となつてすぐに日本皮膚科入会のために皮膚科スタッフに連絡したほうがよい。

内科研修は院内、とくに内分泌代謝・糖尿病内科、膠原病リウマチアレルギー内科、血液内科、呼吸器内科を勧める。小児科は院外で一般的疾患を豊富に経験することを勧める。救急は、院内・院外どちらでも良い。

外科は、院外で一般外科、あるいは院内で形成外科か乳腺・甲状腺・内分泌外科を選択することを勧める。

後の皮膚科研修に役立てるために、さらに3か月程度を割いて他の診療科をローテートすることも考慮して良い。いずれにしろ、義務としてではなくよりレベルの高い皮膚科医を目指すための基礎作りとして、主体性を持って取り組むことを期待している。